

2016年

4月

April



Koryu
Corner
News

交流コーナーだより



公益財団法人 仙台観光国際協会 (SenTIA)

〒980-0804 仙台市青葉区大町2丁目2-10 A棟11階

TEL : 022-268-6260 FAX : 022-268-6252

EMAIL : plan@sentia-sendai.jp

【交流コーナー】

〒980-0856 仙台市青葉区青葉山 仙台国際センター内

TEL : 022-265-2471 FAX : 022-265-2472

EMAIL : koryuc@sentia-sendai.jp

4月の交流コーナー休室日

4月11日 (月)

※休室日は変わることがあります。ウェブサイトでご確認ください

SenTIA Information

台湾地震募金活動を行いました

2月6日に発生した台湾地震では、仙台市と交流のある台南市でも大きな被害がありました。当協会では、東日本大震災後に台南市に招かれた青少年訪問団や在仙台湾人の皆さまとともに5日間の街頭募金活動を行い、合計額は1,412,557円となりました。このお金は、市民や関係団体の皆様からお寄せいただいた支援金と合わせて、3月に仙台市から台南市へと届けられました。ご協力ありがとうございました。



SenTIAサポーター

新規ご登録ありがとうございます!

盆石藤の会

※2016年3月6日現在 (敬称略)

SenTIAサポーター随時募集中です。詳しくはウェブサイトをご覧ください。

<http://www.sentia-sendai.jp/>



Event Information

AFS年間派遣プログラム第64期（2017年出発）

高校生留学説明会

高校生留学に興味のある中学生、高校生、保護者の皆さまを対象としたAFS年間派遣プログラムについての留学説明会です。

日時：4月3日（日）13：00～15：00

場所：仙台市市民活動サポートセンター 研修室5

対象：留学に興味のある中・高校生、保護者 参加費：無料

主催：公益財団法人AFS日本協会 宮城支部

問合せ：info-miyagi@afs.or.jp（担当：渡邊麻佳）

申込方法：氏名・住所・電話番号・学校・学年・参加人数をお知らせの上、メールにてお申し込みください

留学生のためのリサイクル自転車販売会

整備されたリサイクル自転車30台を1台4,000円で販売します。

（防犯登録とTSマーク保障を含む）交通安全教室も行います。

希望者多数の場合は抽選となります。

日時：4月17日（日）10：30までに会場にお越しください

場所：仙台国際センター交流コーナー

対象：留学生（学生証を持ってきてください）

主催／問合せ：（公財）仙台観光国際協会 国際化事業部

TEL：022-268-6260

G7トーク サミット参加国出身者と一緒に考えるおもてなし

「G7仙台財務大臣・中央銀行総裁会議」開催1カ月前に、サミット参加国出身者に外国人からみた仙台・東北の魅力や、日本で感じたおもてなし等について語っていただきます。

日時：4月20日（水）14：30～16：30

場所：仙台国際センター会議棟2F 橘

対象：一般市民100名（未就学児不可） 参加費：無料

主催／問合せ：（公財）仙台観光国際協会 総務企画部

TEL：022-268-6263／FAX：022-268-6252

info@sentia-sendai.jp

申込：氏名、連絡先、参加人数を明記し上記連絡先まで

※要事前申込

男女平等先進国ノルウェーから学ぶ

～未来につなぐ復興まちづくり～

女性の参画により決定された施策やまちづくりが、人々の生活に活かされているノルウェー。この国での男女平等の実際、暮らしにもたらす意味、私たちが復興まちづくりのために学ぶべきこと等について、考え、話し合います。

日時：4月23日（土）13：30～16：00

場所：エル・ソーラ仙台 大研修室 定員：50名 参加費：無料

主催／問合せ／申込：エル・ソーラ仙台 管理事業係

TEL：022-268-8044／FAX：022-268-8045

第7回「世界の料理を作ろう！ロシア編」

ロシアの方と美味しく楽しくロシア料理を作ってみませんか？

日時：4月24日（日）10：00～14：00

場所：エルパーク仙台5F（食のアトリエ）

対象：どなたでも 定員：30名

参加費：大人1,000円／小学生までの子ども500円

主催：ございん（料理教室）

問合せ：info.help.friends.2015@gmail.com

申込：FacebookまたはEmailにご連絡ください

締切：4月10日（日）※定員になり次第締切

大学教授による市民公開講座

仙台で活躍している中国出身の大学・高専教授により、最新の研究と応用についての市民公開講座を開催いたします。

日時：5月29日（日）13：30～16：00（受付13：00～）

①13：30～14：30「紛争の科学的円満解決法」

②14：40～15：40「電力の無線伝送～電源ケーブルのない時代へ」

場所：東京エレクトロンホール宮城6F 602中会議室

対象：どなたでも 定員：100名（申込不要、当日先着順）

参加費：無料

主催／問合せ：宮城華僑華人連合会 TEL：022-341-2440

今月の PICK UP

せんだい留学生交流委員自主企画

「和〜い！輪〜い！」を開催しました



2月21日（日）、交流コーナーでせんだい留学生交流委員の自主企画として写真展&ワークショップ「和〜い！輪〜い！」を開催しました。

留学生をはじめとする16名の参加者が、仙台の風景の写真と、風景以外の写真をそれぞれ1枚ずつ持ち寄り、「あなただけが発見した特別な仙台の魅力」について紹介しました。

その後、グループごとに持ち寄った写真を使って仙台を舞台とするストーリーを創作し、発表しました。参加者は互いに交流を深めながら、仙台の魅力をあらためて確認し、楽しいひとときを過ごしました。

この企画のリーダーを務めた王軒さんは「さまざまな国や地域の留学生と一っしょに1つの企画を実施するおもしろさと楽しさを味わうことができました」と振り返りました。

交流コーナーでGlobal Talk! 世界のはなしを聞いてみよう



ルーマニア編 を開催しました

2月27日（土）、ルーマニア出身で現在は仙台在住のファヌタさんが、ルーマニアの文化や地理、歴史について、また参加者の皆さんも気になっていたドラキュラの起源等についてお話をしました。

ルーマニアは東ヨーロッパに位置し、日本の三分の二ほどの大きさの国です。ルーマニア語が主に話され、民族は90%ほどがルーマニア人。市場では、大きなパンやヒマワリの種が売られている様子をよく見かけるそうです。



イベントの後半には、ファヌタさんがルーマニアの教育や言語についてのお話をしながら、ルーマニア風ドーナツの作り方を披露してくれました。ヨーグルトがたっぷり入ったできたてドーナツとお茶を片手に、参加者の皆さんもリラックスした様子でGlobal Talkを楽しんでいました。次回の交流コーナーイベントをお楽しみに！



としょかん・メディアテークフェスティバル

「外国絵本のおはなし会（カナダ編）」

2月21日（日）、「外国絵本のおはなし会（カナダ編）」を開催しました。

カナダ出身のALT（外国語指導助手）ナタリー・ピカードさんと一緒に、日本の絵本「14ひきのあさごほん」とカナダの絵本「Rendez-Moi Mon Chapeau!」を日本語、英語、フランス語で読みました。ナタリーさんの丁寧な語り口に約90名の参加者は大人も子どもも夢中になりました。

読み聞かせの前後には、ナタリーさんが故郷のバンクーバーの豊かな自然や日本の食べ物の影響を受けた面白い食文化などについて写真を用いて紹介しました。また、絵本に登場した様々な動物の名前を英語とフランス語で練習し、動物のジェスチャーを使ったゲームを楽しみました。

絵本は交流コーナー図書室で読むことができます。

皆さん、ぜひ交流コーナーに遊びに来てくださいね！

市民のCHIKARA



地域でがんばる団体と市民をつなぐ

“団体活動紹介コーナー”。

この度、活動を終了することになった団体「SEIG」。
メンバーの皆さんにお話を伺いました。

さよならSEIG

“SEIG”とは？

→1988年、外国人が仙台で生活するために役立つ情報を届ける目的で設立した団体。

(SEIG : Sendai English Information Group)

“SEIG Letter”とは？

→外国人市民に仙台市各地のイベント・スポーツ・文化活動などの情報をお知らせするための日本語と英語で書かれた月刊情報誌。計263号発行。最終号は交流コーナーで配架しています。

Q1. 活動を通して嬉しかったこと

SEIG Letterの作成は外国人と間接的にしか関わることができないので、読んだ読者から手紙や作成についてのアドバイスといったフィードバックがあると嬉しかったです。「もっと早く知っていれば、私の仙台での生活がもっと良いものになっていた」と嬉しい手紙を頂いたこともありました。

Q2. 苦労したこと

掲載するイベントの情報を得るのが大変で、新聞やタウン情報誌を読んだり、百貨店・楽器店・イベントホール・市民活動サポートセンター等を訪ね歩き、情報収集をしました。

Q3. コーヒークラッチについて

SEIG Letter作成以外にも、約25カ国の出身の留学生やALTを招いて、自国についてのお話を聞いたり、母国の家庭料理の作り方を教えてもらうコーヒークラッチというイベントも開催しました。外国の文化について理解を深められる良い機会になりました。

Q4. 英文コラムA True Storyについて

SEIG Letterに毎号掲載していた英文コラムA True Storyは仙台在住のアメリカ人のメンバーが書いていました。

このコラムを通じて、日本人メンバーも日本とは違うものの見方、考え方を知ることができました。

Q5. 最後にひとこと

仙台に住む外国人が、いろいろな情報を知ることによって暮らしを快適なものにできるように、そして「仙台に住んで良かった」と思ってもらえるように、という思いで今までSEIG Letterを作成してきました。私たちの思いを引き継いでくれるような人がいたらとても嬉しく思います。



今までありがとうございました！